

## 岩美病院 クリスマス演奏会開催

新型インフルエンザの流行により危ぶまれたクリスマス演奏会ですが、無事に病院ひまわりホールにて12月22日（火）に開催しました。

来院された方への一足早いクリスマスプレゼントとして、岩美コーラスの方からは美しい歌声を、岩美病院イベント部の厳選されたメンバー？からはハンドベル演奏を贈らせていただきました。



## 子育て支援センター ロケットくれよんコンサート

12月8日（火）歌のお兄さんグループ「ロケットくれよんコンサート」が、子育て支援センターで行われ、乳幼児とその保護者約36組が、歌やパネルシアターを楽しみました。

子どもたちは、歌に合わせてギョツと抱っこしてもらったり、スズなどの楽器を鳴らしたりして大喜び。保護者と子どもたちがたくさんふれ合って、笑顔あふれる楽しいコンサートとなりました。



## 鳥取大学 地域学部地域文化学科

## 岩美西小学校で調査発表

12月17日（木）、鳥取大学地域学部地域文化学科2年生国際交流グループが、岩美西小学校6年生を対象に、昭和2年にアメリカと日本の間で行われた交流『友情の人形・青い目の人形交換』について調査発表をしました。

この交流を通じてアメリカから贈られた人形のほとんどは、第二次世界大戦中「アメリカから届いた人形は敵国のスパイだ」ということで、壊されたり焼かれたりしました。しかし、中にはかつての結ばれた友情を思い、こっそりと人形を保管した人もいました。人形を通じて結ばれた友情があると知った大学生は、このことを小学生に知ってもらいたいと、発表をすることにしました。発表をすることは、この調査を通してできる地域貢献だと考えたからです。

現在、唯一鳥取県内の残っている人形も登場し、児童はめずらしそうに見入っていました。戦争を切り抜けた人形。この人形を見て、児童らは様々な思いを巡らしているようでした。

村上校長は、「最大の人権侵害と言われる戦争時代にも、こうして敵味方関係なく、お互いの国の理解を深めようとした人がいたことを知って、地球のために何かできることはないかと考えられる子どもになってほしい。」と、今回の調査発表に、期待を寄せていました。

このように、鳥取大学は自ら行った調査等を地域に生かす取り組みをしています。

